

スペシャルキリスト教概論

学ぶことと信じること

ゲスト：並木浩一先生

鈴木寛

2013年5月20日

2013年度 キリスト教週間 テーマ

真の自由が知りたい

In Pursuit of True Freedom

テーマ聖句

ヨハネによる福音書8章32節

「真理はあたなたちを自由にする」

“The truth shall make you free.”

イエスは自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしわたしの言葉のうちにとどまっておるなら、あなたがたは、ほんとうにわたしの弟子なのである。また真理を知るであろう。そして真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」。(ヨハネによる福音書 8:31,32 口語訳)

To the Jews who had believed him, Jesus said, "If you hold to my teaching, you are really my disciples. Then you will know the truth, and the truth will set you free." (John 8:31,32 (NIV))

イエスは自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしわたしの言葉のうちにとどまっておるなら、あなたがたは、ほんとうにわたしの弟子なのである。また真理を知るであろう。そして真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」。(ヨハネによる福音書 8:31,32 口語訳)

To the Jews who had believed him, Jesus said, “If you hold to my teaching, you are really my disciples. Then you will know the truth, and the truth will set you free.” (John 8:31,32 (NIV))

イエスは自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしわたしの言葉のうちにとどまっておるなら、あなたがたは、ほんとうにわたしの弟子なのである。また真理を知るのであろう。そして真理は、あなたがたに自由を得させるであらう」。(ヨハネによる福音書 8:31,32 口語訳)

イエスを信じ、イエスの言葉を生き、学びつづけければ、あなた方は真理を経験するようになる。そしてその真理は、あなたがたを解放する。(私的意識)

イエスは自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしわたしの言葉のうちにとどまっておるなら、あなたがたは、ほんとうにわたしの弟子なのである。また真理を知るであろう。そして真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」。(ヨハネによる福音書 8:31,32 口語訳)

イエスを信じ、イエスの言葉を生き、学びつづければ、あなた方は真理を経験するようになる。そしてその真理は、あなたがたを解放する。(私的意識)

「信じること」「学ぶこと」……………「真理」「自由」

並木浩一先生

神学者（旧約聖書学、キリスト教学、宗教学）

国際基督教大学名誉教授

国際基督教大学教養学部卒業

東京教育大学大学院文学研究科倫理学博士課程中退

国際基督教大学人文科学科助手。同助教授、準教授、

人文科学科教授、2006年退職。

(Wikipedia より)

学ぶことと信じること

ゲスト：並木浩一先生

学ぶことと信じること

鈴木寛

教養学部 College of Liberal Arts は、次のような質の教育をめざしている。すなわち真理の探究において、神以外のなにものをも神（絶対的価値）とせず、そのゆえにどのような論理をも考えかたをも、自由にかつ冷静に研究対象とすることのできる主体的自由を堅持し、他の学問分野あるいは他の文化に対して開かれた意識をもち、総合的判断力と創造的な思考力を持つ人、そしてさらに、人の尊厳を確立し、社会正義を実現するために新しい社会と世界の形成に積極的に参与し貢献することのできる人をつくる教育である。

「教養学部」 in Student Handbook

排他的・閉鎖的価値観からの解放をICUでは「神以外の何ものをも神(絶対的なもの)とせず」と表現しています。

しかし、この背景にある神信仰に疑問を投げかける声も聞きます。

Q1:「信仰はかえって開かれた価値観へと自由にされていく妨げになるのではないか」

Q2:「神を意識しなくてもリベラルアーツにはまったく問題ない」

「発刊にあたって」 in GE Handbook 2013

啓蒙とは何か。それは人間が、みずから招いた未成年の状態から抜け出すことだ。未成年の状態とは、他人の指示を仰がなければ自分の理性を使うことができないということである。人間が未成年の状態にあるのは、理性がないからではなく、他人の指示を仰がないと、自分の理性を使う決意も勇気も持てないからなのだ。だから人間はみずからの責任において、未成年の状態にとどまっていることになる。こうして啓蒙の標語とでもいうものがあるとすれば、それは「知る勇気を持って」だ。すなわち「自分の理性を使う勇気をもて」ということだ。

エマニュエル・カント著 中山元訳「永遠平和のために／啓蒙とは何か他3編」より

イエスは自分を信じたユダヤ人たちに言われた、「もしわたしの言葉のうちにとどまっておるなら、あなたがたは、ほんとうにわたしの弟子なのである。また真理を知るであろう。そして真理は、あなたがたに自由を得させるであろう」。(ヨハネによる福音書 8:31,32 口語訳)

イエスを信じ、イエスの言葉を生き、学びつづければ、あなた方は真理を経験するようになる。そしてその真理は、あなたがたを解放する。(私的意識)

「信じること」「学ぶこと」……………「真理」「自由」

人々は理性を失い、勝手に自己中心的です。

それでも彼らを愛しなさい。

あなたがした良い行いは、明日には忘れられます。

それでも良い行いをしなさい。

誠実で優しいがゆえに、あなたは簡単に傷つくでしょう。

それでも、誠実で、優しくありなさい。

歳月をかけて建てる建物が、一晩で壊されてしまうことになるかもしれません。

それでも建てなさい。

本当に助けが必要な人々ですが、彼らを助けたら、彼らに襲われてしまうかもしれません。

それでも彼らを助けなさい。

持っている一番良いものを分け与えると、自分はひどい目にあうかもしれません。

それでも、一番良いものを分け与えなさい。

「インドのコルコタにある『孤児の家』に掲げられているマザー・テレサの言葉」

学ぶ

真理を手にしていないから。

自分の中に解決策・こたえがないから。

信じる

真理を手にしていないから。

自分の中に解決策・こたえがないから。

そして、あなたがたのうちに良いわざを始められたかたが、キリスト・イエスの日までにそれを完成して下さるにちがいないと、確信している。 (ピリピ 1:6)

信じること

イエスは言われた。「『できれば』と言うか。信じる者には何でもできる。」その子の父親はすぐに叫んだ。「信じます。信仰のないわたしをお助けください。」

(マルコ 9:23, 24 新共同訳)

イエスは振り向いて、この女を見て言われた、「娘よ、しっかりしなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです」。するとこの女はその時に、いやされた。

(マタイ 9:22 口語訳)

学問・信仰

一瞬にして世界が広がり、ある真理が、見えるようになる。

理解できないこと、わからないこと、信じられないことが、何倍も多くなる。

限界を知る。ある限界を超える希望を得る。

Q1:「信仰はかえって開かれた価値観へと自由にされていく妨げになるのではないか」

A. 妨げになるかも知れない。かけがえのない、宝（真理）がそこにあると信じ、すべてをなげうって買うようなものだから。

天国は、畑に隠してある宝のようなものである。人がそれを見つけると隠しておき、喜びのあまり、行って持ち物をみな売りはらい、そしてその畑を買うのである。また天国は、良い真珠を捜している商人のようなものである。高価な真珠一個を見いだすと、行って持ち物をみな売りはらい、そしてこれを買うのである。

（マタイ 13:44-46 口語訳）

A. それでも学び続けることができる。

「先生、律法の中で、どのいましめがいちばん大切なのですか」。イエスは言われた、「『心をつくし、精神をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ』。これがいちばん大切な、第一のいましめである。第二もこれと同様である、『自分を愛するようにあなたの隣り人を愛せよ』。これらの二つのいましめに、律法全体と預言者がかかっている」。(マタイ 22:36-40)

Q. 信じることなしに学ぶことができるか。

Q. 真理があると信じる方向をさだめないうで、学ぶことができるか。

- 成長させてくださる方に信頼すること。

わたしは植え、アポロは水をそそいだ。しかし成長させて下さるのは、神である。だから、植える者も水をそそぐ者も、ともに取るに足りない。大事なものは、成長させて下さる神のみである。(コリント人への第一の手紙 / 3章6節, 7節)

- 達し得たところに従って歩む

わたしがすでにそれを得たとか、すでに完全な者になっているとか言うのではなく、ただ捕えようとして追い求めているのである。そうするのは、キリスト・イエスによって捕えられているからである。(ピリピ3:12)

Q. イエスのもとに真理はあるか。

A. キリスト教は、

複雑化した社会の中の人間の問題に対応できていない。

各地の紛争： 宗教間、民族間

貧困の問題： 失業、就職難、低賃金

福祉の問題： 保育園、働く女性などの支援

家庭のモデル：

すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである」。

(マタイによる福音書 11:28-30 (口語訳))